

文部科学大臣杯 第77回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会 大会要項

ver.20220817

主催	日本学生自転車競技連盟	公益財団法人日本自転車競技連盟	鹿児島県自転車競技連盟		
後援	スポーツ庁	鹿児島県	公益財団法人鹿児島県スポーツ協会	錦江町	南大隅町
	燃ゆる感動かごしま国体錦江町実行委員会		燃ゆる感動かごしま国体南大隅町実行委員会		
協賛	公益財団法人JKA	公益社団法人全国競輪施行者協議会	一般社団法人日本競輪選手会		
	井上ゴム工業株式会社	株式会社パールイズミ	WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)		
	セイコータイムクリエーション株式会社	株式会社クレーマージャパン	株式会社NIPPO		
	日本新薬株式会社	社会福祉法人白鳩会	株式会社垂水温泉鶴田	有限会社フレッシュ吹上・黒川農園	
協力	錦江警察署	肝属地区消防組合南部消防署	国立大学法人鹿屋体育大学	南大隅高校自転車競技部	
	日直商会株式会社	ブリヂストンサイクル株式会社	南九州スバル株式会社	錦江中学校	
	田代中学校			(順不同)	

期日	トラック & ロード				
		: 2022年 8月29日(月)	20時00分	チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者Zoom会議	
	トラック:	2022年 9月1日(木)	9時00分	トラック参加選手 受付+ゼッケン配布	
				(於:トラック競技場内 9:30 終了)	
			10時00分	競技開始	
			12時20分	開会式(アナウンス放送で・一部の役員選手の整列あり)	
			競技終了後	表彰式/トラック競技種目別 於:トラック競技場内	
		9月2日(金)	7時00分	2日目からのトラック参加選手 受付+ゼッケン配布	
				(於:トラック競技場内 7:30 終了)	
			8時00分	競技開始	
			競技終了後	表彰式/トラック競技種目別 於:トラック競技場内	
		9月3日(土)	7時00分	3日目からのトラック参加選手 受付+ゼッケン配布	
				(於:トラック競技場内 7:30 終了)	
			8時00分	競技開始	
			競技終了後	表彰式/トラック競技種目別・トラック部門総合	
	ロード:		表彰式終了後	ロード参加選手 受付+ゼッケン配布	
				(於:トラック競技場内 16:30 終了予定)	
		9月4日(日)	8時30分	男子競技開始(6周=145.2 km)	
			8時33分	女子競技開始(3周=72.6 km)	
			競技終了後	ロード部門表彰式・総合成績表彰式・閉会式	

会場 トラック:鹿児島県肝属郡南大隅町根占川南6240 鹿児島県根占自転車競技場(333.33m)
 ロード:鹿児島県肝属郡錦江町及び南大隅町 特設周回コース 1周 24.2 km 標高差221m

大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)の学校対抗形式による種目別の優勝者を決め、種目別の順位により与えられる対抗得点の合計をもって選手権校を決定する大会である。

競技種目 1. 男子の部: スプリント、1kmTT、ケイリン、4kmlP、タンデムスプリント、4kmTP、チームスプリント、オムニウム、マディソン、個人ロードレース 145.2 km (6周=145.2 km)
 2. 女子の部: スプリント、500mTT、3kmlP、チームスプリント、オムニウム、マディソン、個人ロードレース 72.6 km (3周=72.6 km)

参加資格

(男女共通)

- 当該年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟(以下「JCF」という)登録競技者のうち、本連盟登録選手。
- 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。
- また、試合に参加するにあたって本大会参加選手並びにチームスタッフについては、前項の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿った感染防止対策として本連盟HP上の以下アドレスに掲載してある「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを参加条件とする。順守事項が守られていない場合には本大会への参加を認めない。「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」<https://jicf.info/covid-19-pandemic-events-protocols/>
 尚、本通知の他に、大会ごとに必要な事項を取りまとめた感染防止対策に関するコミュニケを別途発表する場合もあるので、注意すること。

(男子トラックレース)

- 当該年度版学連大会参加基準を満たしている者。補欠選手も大会参加基準を満たしていること。
- 1人2種目迄、但し4kmTP、チームスプリントはこの数に含まない。1校あたりの最大人数は補欠を含め13名迄とする。
- 各校種目別のエントリー可能人数は次の通り。
 スプリント=2名迄、1kmTT=2名迄、4kmlP、ケイリン、オムニウム=1名、タンデムスプリント、マディソン=1組、4kmチームパーシュート=1チーム(6名/出走4名)、チームスプリント=1チーム(5名/出走3名)
- 補欠選手登録は、各校トラック各個人種目1名、タンデムスプリント・マディソン2名迄とする。
- マディソンの参加条件については以下の通りとする。UCI、JCF及び学連主催大会のマディソンレースにおいて走行経験のある者とする。補欠についても同様とする。なお、エントリー数により予選を行う場合がある。

(女子トラックレース)

9. 1人2種目迄、但しチームスプリント、マディソンはこの数に含まない。
10. 各校種目別のエントリー可能人数は次の通り。
スプリント、500mTT、3kmIP、オムニアムは各校2名迄、マディソンは2組迄、
チームスプリント1チーム(5名/出走3名)。
11. 補欠選手登録は、各校トラック各個人種目1名迄、マディソンは2名迄とする。
12. 女子自転車競技の普及発展の観点から、女子チームスプリントのオープン参加を認める。オープン参加なので学校対抗得点の対象外であり、かつ表彰の対象とはならない。尚、学校対抗のチームで正式エントリーした選手は、正選手・補欠にかかわらずオープン参加はできない。オープン参加する場合、エントリー用紙にオープン参加するチームの他の学校の選手の氏名・学校名も記入すること。また、オープン参加チームのジャージは各自所属する学校のを着用のこと。

(ロードレース)

13. 男子は当該年度ロード・カテゴリ・クラス1若しくは2に属する者。1校8名迄、補欠選手登録2名迄。最大計176名。
尚、出走予定人数が176名を超えた場合、下記の順に176名までを選出する。
 - (1) 本年度のロード選手権ランキング
 - (2) 前年度のロード選手権ランキング
 - (3) 本年度ロード・クラス1の者
 - (4) 本年度ロード・クラス2の者で、本年度RCSランキング保持者、定員を超える場合はランキング順
 - (5) 上記にて定員に達しない場合、本年度ロード・クラス2の者の前年度RCSランキング順
なお、補欠については本年度ロード・クラス1または2とし、上記人数に含まない。
14. 女子は1校6名迄、補欠選手登録2名迄。
(男女トラック/男女ロードレース共通)
15. 主催者が認めた若干名のJCF強化指定選手のオープン参加を許容する場合がある。(女子選手の男子レースへの参加を含む)
(チーム監督)
16. チーム監督はUCIコーチ資格、日本体育協会上級コーチ・コーチ・指導員資格、JCFチームアテンダント所持者に限る。

参加申込

1. 参加を希望する選手は、所定の様式にて本連盟事務局まで電子メールにより申し込むこと。エントリー専用電子メールアドレス(2020jicf.championship@gmail.com)への到着を以て参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくはファクシミリにて期限内に送付する事。申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。尚、トラックとロードそれぞれ専用の書式を使用するので、間違わないこと。概ね大会開催3週間前を目処に本連盟ウェブサイトにて受付完了者リストを公表するので、各自確認のこと。
なお、大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙と一緒に上記アドレスへ送ること。尚、エントリー用紙のデータが重くなるので、ライセンス画像データはエントリー用紙内に挿入する事を禁ずる、別ファイルにして送ること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。
2. 参加料は正選手・補欠選手にかかわらずトラック、ロードそれぞれ1名6,000円とする。
3. トラックの申込期限及び参加料納入期限は、8月1日(月)必着、ロードの申込期限も同じく8月1日(月)必着とする。
尚、ロードについては確認でき次第参加申込可能者のリストを本連盟HP上に掲載するが、参加申込者数が176名を超えた場合には、上記の参加資格13.の方法により選出を行う。参加申込可能者は本連盟HPで発表する期日までに、下記の口座へ参加料を振り込むことで、ロードのエントリー手続きが完了する。
4. 参加料の送金は、銀行口座振込とする。送金名義人について、トラックは振込元に大会コード0901と、XX大学等、必ず学校名を、ロードは振込元に大会コード0904と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。
振込先 長野県労働金庫(ろうきん) 諏訪湖支店 普通 9687387 口座名義 日本学生自転車競技連盟
5. 一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、新型コロナ関連の影響で本大会の開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した費用を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。また、上記の参加資格にあるように当日の体調不良や新型コロナ対策の履行を妨げることにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。
6. 尚、本大会における欠場については、理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを課さないこととする。ただし、必ず事前に事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)まで電子メールで欠場の連絡をすること。また、当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合の参加料は返却しない。
7. また、申込み手続きを以て本要項記載の誓約書に同意したものとみなす。

会場入場

1. 本大会に来場する全ての選手、チームスタッフ、大会役員、メディア関係者、その他の関係者は前述の参加資格3.にあるように、本連盟のHP上に掲載してある「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守、実行することを入場の条件とする。尚、本大会における観客を含む来場者に対する規制の詳細については、別途発表するコミュニケを参照すること。
2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がスタッフとなる場合には、選手数+1名を上限(選手1名ならば、2名まで)として会場への入場を許可する。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。また、チームスタッフの選手以外の全員の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入がない場合には、競技場内への入場を許可しない。また、チームスタッフのみが、インフィールド内への立ち入りを許可されるが、その人数についてはJCF規則の他コミュニケにて人数を制限する。また、本大会はトラックとロードそれぞれのチーム役員登録証を提出する必要があるが、基本的にエントリー用紙に記入したスタッフのみが、チーム役員に登録できる。詳細についてはコミュニケ等を参照すること。
3. エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、トラック・ロードともに大会開催3日前の22時までに当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない

い。尚、変更後のスタッフについても前述の参加資格3.の「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを変更の条件とする。

4. メディア関係者は、来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催3日前の22時までに取材申請書をメールで事務局宛へ提出ください。また、選手の参加資格3.にありますように当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などご協力いただくことを原則とします。なお、メディア関係者についても前述の参加資格3.の「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを来場の条件とします。順守事項が守られていない場合には競技場内への入場をお断り申し上げます。選手及び競技役員の方の安全のためご理解ください。

出場者受付

1. ライセンスコントロールはトラック、ロードともに事前にデータ上でを行い、大会受付の現場では行わない。
2. トラックの参加選手は1日目の9時00分から9時30分の間に、2日目及び3日目は7時00分から7時30分の間に、トラック競技場内の受付にてゼッケン等を受け取る。この時点で、招集の代わりとするので欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。尚、当日の補欠選手起用届およびチーム役員登録証（トラック）をこの受付時間内に受付に提出すること。これ以降は補欠選手起用届およびチーム役員登録証（トラック）の提出は認めない。また、TPとTSPについては、当該番組開始1時間前までにTP・TSP出走選手届をセクレタリに提出すること。
3. トラックの参加者は、自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションをセルフチェックで行うこと。但し、選手はマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。また、自転車器材については選手本人が取り扱うものとし、審判は自転車器材等には触らないことを基本とする。詳細は別途発表するコミュニケにて確認すること。レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。
4. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。
5. トラックにおいて予選に参加した選手以外の選手が予選以降の競技に出走することは認められない。
6. ロードの参加選手はトラック最終日9月3日（土）表彰式終了後から1時間の間（16時30分終了予定）に、トラック競技場内の受付にてゼッケンとプレートを受け取る。この時点で出走サインの代わりとするので、欠場する場合は該当する選手の氏名を受付に申し出ること。また、補欠選手起用届およびチーム役員登録証（ロード）をこの受付時間内に受付に提出すること。これ以降は補欠選手起用届とチーム役員登録証（ロード）の提出は認めない。
7. ロードは男女とも上記受付時間の終了を補欠選手起用届の提出の最終期限とし、その際、不出場となる正選手のゼッケンと引き換えに補欠選手のゼッケンを配布する。これ以降の補欠選手起用届の提出は正選手の病気・怪我などの理由を除き、基本的に認めない。
8. 出走前の出走サインは行わない。バイクチェックについては別途発表するコミュニケにて詳細を確認すること。レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。

対抗得点

1. 男子については、以下の各種目の最終順位に従い、つぎの対抗得点を与える。なお、男子のトラック団体種目とは4kmTP、チームスプリントをさす。尚、男子オムニウムは団体種目の得点を適用し、マディソンは個人種目の得点とする。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~15	16~20
トラック個人種目	9	7	6	5	4	3	2	1				
トラック団体種目	14	12	10	8	6	4	3	2				
ロード	14	12	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

ただし、男子ロードレースについては各校ごとに上位3名迄のみが得点の対象となる。空位得点の繰り上げは行わない。

2. 女子については、以下の各種目の最終順位に従い、つぎの対抗得点を与える。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
トラック個人種目	7	5	4	3	2	1				
トラック団体種目	10	8	6	4	3	2				
ロード	10	8	6	5	4	3	2	1	1	1

ただし、女子ロードレースについては各校ごとに上位2名迄のみが得点の対象となる。空位得点の繰り上げは行わない。女子のトラック団体種目とはチームスプリントをさす。女子オムニウム、マディソンの対抗得点は個人種目の得点を適用する。

3. 総合順位は、男女別ロード部門とトラック部門の対抗得点の合計の多寡をもって決定する。同得点の場合には、トラック競技・ロード競技の各種目上位8名までを対象として、上位者が多い学校を上位とする。

賞典・式典

1. 開会式は時程表に従い、競技場内にて放送アナウンスにて行う予定です。閉会式は、ロード競技終了後準備が整い次第行う予定ですが、開会式・閉会式については別途発表するコミュニケにて詳細をご確認ください。
2. 総合成績・種目別成績について、順位に従って下記の範囲に入賞者とし、つぎの賞品・賞状を授与する。
 - 1) 総合成績（男子） 優勝：文部科学大臣杯・優勝旗・賞状、2・3位：賞杯・賞状、4~8位：賞状
（女子） 優勝：優勝杯・賞状、2・3位：賞杯・賞状、4~6位：賞状
 - 2) 男子トラック 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~8位：賞状
トラック部門総合成績：1~8位：賞状
 - 3) 男子ロード 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~10位：賞状
ロード部門総合成績：1~8位：賞状
 - 4) 女子（全種目） 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~6位：賞状
3. トラック種目の表彰式は、第3位以上が出席して、時程表に基づき、競技場内にて行う。
4. ロード種目・総合成績の表彰式は、閉会式の中で行う。時間・場所・式進行上の注意等については別途発表のコミュニケにて詳細を確認すること。

事故措置

1. 競技中発生した事故等について、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。
2. 各選手は、各々の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構（JADA）への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

合意管轄 本大会に関する一切の紛争（裁判所の調停手続きを含む）は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意する。

事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 408
Tel 090-2207-2369 Fax 03-6804-2329

大会特別規則

第1条（スプリント）

男子は予選タイム上位8名が1/4決勝に、女子は上位4名が1/2決勝に進出する。男子の1/4決勝は1回戦制で行う。尚、男女とも5～8位決定戦は行わず、予選の200mFTTの結果により5～8位を決定する。（UCI規則3.2.050の世界選手権大会の組合せ表に準ずる）

第2条（4kmIP、3kmIP）

決勝のみを行う。追抜きがあった場合でも両名完走しタイムを計時する。

第3条（タンデムスプリント）

別途定める「日本学生自転車競技連盟タンデム器材運用基準」に適合している器材であると同時に、後輪の駆動側にチェーン引き又は同等の効力をもつ緩み防止装置の装着を義務付ける。装着なき場合はレース・練習を問わず使用を禁ずる。予選の結果タイム上位8チームが1/4決勝へ進出する。1/4決勝は1回戦制で行う。尚、5～8位決定予選及び、5～6位、7～8位決定戦は行わず、予選の結果により5～8位を決定する。（UCI規則3.2.050の世界選手権大会の組合せ表に準ずる）

第4条（オムニアム）

男子はスクラッチ10km、テンポレース10km、エリミネーション、ポイントレース24kmで行う。
女子はスクラッチ8km、テンポレース8km、エリミネーション、ポイントレース20kmで行う。
男女とも、参加エントリーがトラックの制限（JCF規則第63条）による最多数の競技者を超える場合は、予選（ポイントレース）を行う。予選のポイントレースの距離について男子は12km、女子は8kmで行う。

第5条（マディソン）

男子は参加エントリー数が多く安全なレースの実施が困難と思われる場合に予選10km（30周）を行い、男子の決勝は30km（90周）で、女子は決勝のみ20km（60周）で行う。尚、女子について4チーム未満のエントリーである場合は、試合を実施しない。
また、参加資格（男子トラックレース）8にある走行経験には本年7月に開催されるTRS # 2または、本大会エントリー申込期限後の本年8月に開催される国際トラックカップでのマディソンにおいて走行を経験した者を含むものとしてエントリー申し込みをすることができる。但し、前記の両大会にエントリーはしたが、実際のレースにおいてこれらの条件を満たさなかった者については、本大会のマディソンへのエントリーは取り消す。

第6条（4kmTP）

決勝のみを行う。追抜きがあった場合でも両チーム完走しタイムを計時する。

第7条（男女チームスプリント）

1. 男女とも決勝のみを行う。

第8条（ギア比制限）

ロード競技のジュニアのギア比制限は、翌年3月31日時点の年齢を以て適用する。レースの前後に適宜ギア比の検査を行うことがある。

第9条（個人ロードレース）

1. 選手受付 選手は、競技開始15分前までにスタート位置に集合する。出走サインは行わない。バイクチェックについては別途発表するコミュニケーションにて詳細を確認すること。
2. スタート位置 出走選手のうち、昨年度の本大会本種目における上位10名までの選手に最前列でのスタートを認める。

3. 器材補給

- 1) 男子・女子共に主催者にて代輪等を積載できる共通器材車を用意する。また、主催者が準備する代輪を若干数は用意するが、ディスクブレーキ用のホイールは用意しない。共通器材車にディスクブレーキ用のホイールの積載を依頼する場合は同時に専用工具も準備し、搭載を依頼すること。
- 2) 各校にて用意した代車・代輪の交換を大会コミュニケーションにより指定した場所でのみ認める。
- 3) 事故やパンク等の場合に選手間での自転車、車輪を交換することは、同一校の選手間に限って認める。

4. 食料補給

飲食料の補給を別途大会コミュニケーションにより指定する場所と周回でのみ認める。

5. 失格の取扱い

- 1) 原則として、先頭より一定時間遅れた選手及びコミッセールが完走不可能と判断した選手は、失格とし競技より除外する。打ち切り時間は別途定める。
- 2) 前項の規定以外にも突発事故の発生等により競技中の選手を除外する事がある。その場合はコミッセールの指示に従うこと。
- 3) 競技を中止あるいは除外された選手は、速やかにゼッケンを外すか、ユニフォームを裏返してゼッケンを見えなくすること。

6. 正式スタートまでのパレード区間の距離は、大会コミュニケーションで発表する。

7. ロードレースについては一般公道を走行可能な装備で参加のこと。ベル・反射テープの装着も必須とする。

第10条 (チーム監督/代表者・感染対策チーム責任者会議)

2022年8月29日(月)20時00分より、事前にリモートでチーム監督/代表者・感染対策責任者会議を行う。参加チームの監督、感染対策チーム責任者は必ず参加すること。会議アドレスはエントリー用紙記載の記入者E-mailアドレスに送付します。大会会場への移動中などにより会議を欠席する場合は、必ず会議前日の22時までに学連携帯090-2207-2369へ連絡をし、事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)までその旨のメールを送り、事務局の許可を得ること。尚、無断で欠席した場合は該当する大学・チームに対して、罰金のペナルティを科す。

誓 約 書

日本学生自転車競技連盟 御中

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI 規則 1.1.004, JCF 規則第5条 2. (4))
- 2 大会(競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む)における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF 規則第5条 2. (9) 準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしいれたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則1.2.082)

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイトを随時チェックすること。

文部科学大臣杯 第77回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 ロード・レース・コース図

